

# 絶景を描く

-江戸時代の風景表現-



① 椿椿山《山海奇賞図巻》(部分) 紙本淡彩 文政13(1830) 静岡県立美術館蔵

**会 期**：令和4年9月10日(土)～10月23日(日)(38日間) ※一部展示替え予定  
月曜休館(ただし9月19日と10月10日は開館し、翌日休館)

**会 場**：静岡県立美術館 本館第1～第6展示室  
静岡市駿河区谷田 53-2

**観 覧 料**：一般800円(600円)、70歳以上400円(300円)、※( )は前売りおよび団体料金  
大学生以下無料  
※収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

**主 催**：静岡県立美術館

## 概 要：

日本列島の津々浦々に点在する素晴らしい景色は、古くから人々の目を楽しませ、描かれてきました。この展覧会では、当館および個人所蔵作品などから、各地の絶景を描いた江戸時代の絵画を中心に展示します。

本展では、いくつかのセクションに分けて、絶景の魅力を読み解きます。はじめに、古くから和歌に詠まれてきた名所を題材にした作例をご覧ください。続いて、関西の南画家たちによって試みられた各地の名勝を理想化する表現、関東の画家たちが中心となって追究した迫真的表現などに注目します。展示の最後には、作品の題材となった風景が辿った歴史にも迫り、風景表現の展開を異なる観点からご紹介します。画家たちが追い求めた絶景を巡る旅をご堪能ください。

## 主なみどころ

### 1 江戸時代の風景を描いた名品を一望できます

本展には、江戸時代に各地の絶景を描いた珠玉の作品が集結します。なかでも富士山を描いた図は、富士山のある静岡県に所在する当館が、開館以来収集してきた名品を厳選し、江戸狩野派から関西画壇の諸派まで、様々な画家たちによる作品を展示します。それぞれの作品の特徴を比較しながらご覧ください。



②狩野探幽《富士山図》 紙本墨画淡彩  
寛文7（1667） 静岡県立美術館蔵



③作者不詳《武蔵野図屏風》左隻 金地着色  
江戸時代（17世紀） 静岡県立美術館蔵

### 2 富士山をテーマにしたふたつの大作を比べてご覧いただきます

原在正《富士山図巻》（個人蔵）と歌川広重《不二三十六景》（当館蔵）という、様々な場所から眺めた富士山を描いた二つの大作を比較展示します。両作品を比較すると、富士山のビュースポットが様々な場所にあったことが体感できます。横幅を自由に設定できる画卷と、寸法が一定である中判錦絵というそれぞれの画面形状を活かした構図の工夫にもご注目ください。



④原在正《富士山図巻》第3巻より「箱根山富士見臺」（部分）紙本着色 江戸時代後期（18世紀末） 個人蔵



左：⑤歌川広重《不二三十六景》より「駿河富士沼」  
紙、木版、色摺 嘉永5（1852） 静岡県立美術館蔵

右：⑥同「駿河田子の浦」

紙、木版、色摺 嘉永5（1852） 静岡県立美術館蔵

### 3 絶景の舞台に迫ります

東海道沿いの富士見の名所をはじめ、宮島など日本三景にも選ばれるおなじみの景勝地、さらには遙か伊豆諸島まで、出陳作品の題材となった場所は全国各地に及びます。一部の作品については、描かれた風景に関する現地での調査結果も交え、画家が風景をどのように捉え、どのように描いたのかをご覧ください。



⑦永村茜山《伊豆七島真景図巻》  
より「新島附式根島東浦全圖」  
紙本墨画淡彩 天保9（1838）頃  
個人蔵

## 会期中イベント：

**館長美術講座「真を写す人― 絵画と写真の話」** 10月10日（月・祝）14：00～15：30

本展覧会のテーマを、館長独自の視点で掘り下げます。

講師：木下直之（当館館長） 会場：当館講堂

参加無料、申込不要

**フロアレクチャー** 9月18日（日）、10月1日（土）各日14：00～

展示室で担当学芸員が解説を行います。

集合場所：本館第1展示室 要観覧券、申込不要

**スライドトーク「絶景誕生の舞台裏」** 9月25日（日）14：00～15：00

担当学芸員が、一押し作品の隠された魅力を紹介します。

会場：当館講座室 参加無料、申込不要

**わくわくアトリエ** 9月18日（日）10：00～16：00頃

筆ペンや水彩などを使い、パノラマの風景画を描きます。

講師：夏目幸弘氏（造形作家） 会場：当館実技室 要参加費、要事前申込 対象：小学生から大人まで

申込方法・内容詳細は開催日の約1か月前に、当館ウェブサイトや館内配架チラシでお知らせします。

**実技講座** 10月15日（土）、16日（日）10：00～16：30頃

伝統的な日本画材を使い、パノラマの風景画を描きます。

講師：森谷明子氏（日本画家） 会場：当館実技室 要参加費、要事前申込

対象：中学生以上の個人

申込方法・内容詳細は開催日の約1か月前に、当館ウェブサイトや館内配架チラシでお知らせします。

## 広報用画像データ

本プレスリリースに掲載されている作品画像のデータを、広報目的の使用に限り提供いたします。申請者名、ご連絡先、掲載メディア、掲載日時のほか、データ提供を希望される作品画像のキャプション先頭に記した番号（①～⑦）を下記問い合わせ先までお知らせください。

## 問い合わせ先

静岡県立美術館

住所：〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

電話：054-263-5857

E-MAIL：webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

ウェブサイト：<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

担当：学芸課 浦澤

総務課 加藤